

努力事項解説 その1 (小学校音楽)

題材の目標を焦点化し、内容を厳選し、教材のねらいを明確にしましょう

を
A小学校4年生の題材「ひょうしとせんりつ」で考える

「題材の内容」は厳選されているか？

題材の内容を厳選することについて、A小学校4年生の「ひょうしとせんりつ」の題材を通して考えてみましょう。今回は、「題材の内容」は厳選されているか、考えてみます。

「内容を厳選する。」については、以前このように書きました。

学習指導要領の内容や共通事項に照らし合わせて、**きびしい基準**で題材の内容を選ぶ。これこそが「この題材で指導すべき内容」に絞り込むということです。

では、この考えに基づいて、下の「ひょうしとせんりつ」の題材の「主な学習活動」について、考えてみましょう。この「主な学習活動」は厳選されていると言えるでしょうか。答えは右側です。

「ひょうしとせんりつ」の「主な学習活動」

- 「エーデルワイス」の楽曲の雰囲気をつかむ。
- 3拍子の指揮をする。
- 歌詞を理解し、情景を思い浮かべて歌う。
- 楽器でエーデルワイスの主旋律を演奏する。
- 3拍子のリズムを感じながら「エーデルワイス」を歌う。
- 楽器で主旋律を演奏する。
- 楽器で副次的旋律を演奏する。
- 楽器や歌詞唱で二重奏（二重唱）する。
- 「トルコ行進曲」を聴く。楽曲について知り、身体表現をする。
- 「メリーさんの羊」「ラバースコンチェルト」の範唱を聴き、歌詞唱する。
- 4拍子の指揮を覚える。

「厳選されているとは言えません。」理由は、「指揮を覚える。」という活動があるからです。

右側の「ひょうしとせんりつ」の「主な学習活動」の赤い下線の箇所をご覧ください。この、「3拍子の指揮をする。」「4拍子の指揮を覚える。」という内容が入っていることが厳選されていない理由です。

「指揮を覚える。」とは、「指揮法を身に付けること」と受け止められます。「3拍子の振り方」、「4拍子の振り方」を機械的に練習することにつながりかねません。

内容として取り入れるならば、例えば、

「エーデルワイスに合わせ指揮をすることで3拍子の音楽の雰囲気を感じ取る。」

などとすべきです。

学習指導要領には、「音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽とかかわるために、体を動かす活動を取り入れる。」、例として「音楽に合わせて歩いたり、動作したりする。」と示されています。ここに書かれているとおり、音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽とかかわるために、手段として「動作したりする」のひとつの方法として指揮をするのならよいですが、指揮の仕方を覚えることが目的になってしまっては、内容が厳選されているとは言えません。（詳しくは、小学校学習指導要領解説音楽編P.71）

「内容の厳選」とは別の視点になりますが、この「題材の学習活動」の課題として次の点が挙げられます。それは、この題材の学習活動には

リズム、拍の流れやフレーズを工夫して
歌ったり演奏したりする内容が少ない

ことです。

「リズム、拍の流れやフレーズを工夫して歌ったり演奏したりすることに思いや意図を持つこと」は音楽科の「思考力、判断力、表現力」を育てるために大変重要な内容です。

しかし、この題材の「主な学習活動」には、これに関係した内容が、青い下線を引いた2カ所しかありません。（下記参照）

これに関わる内容として、例えば、「エーデルワイスを1拍目を意識して体を揺らしながら歌い、3拍子の優雅さを感じ取る。」とか「4拍子と3拍子のリズムの違いを聴き取り、雰囲気の違いを感じ取りながら演奏する。」、「フレーズの終わりの続く感じ、終わる感じの違いを生かして歌う。」などが考えられます。こういった内容をもっと盛り込んで、音楽科における「思考力、判断力、表現力」を確実に育成していくことが大変重要です。

左側が厳選された題材の指導内容（例）、右側が厳選されていない学習活動です。違いをご覧ください。

題材「ひょうしとせんりつ」の
厳選された指導内容（例）

- 声を合わせて（エーデルワイス、メリーさんの羊、ラバースコンチェルト）を歌うこと。
- 音を合わせて（エーデルワイス、メリーさんの羊、ラバースコンチェルト）を演奏すること。
- （エーデルワイス、メリーさんの羊、ラバースコンチェルト）を、歌詞の内容、リズム、拍の流れやフレーズを工夫し、思いや意図を持って歌うこと。
- （エーデルワイス、メリーさんの羊、ラバースコンチェルト）を、リズム、拍の流れやフレーズを工夫し、思いや意図を持って演奏すること。
- トルコ行進曲を、リズム拍の流れやフレーズのかかり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。

題材「ひょうしとせんりつ」の
厳選されていない「主な学習活動」

- 「エーデルワイス」の楽曲の雰囲気をつかむ。
- 3拍子の指揮をする。
- 歌詞を理解し、情景を思い浮かべて歌う。
- 楽器でエーデルワイスの主旋律を演奏する。
- 3拍子のリズムを感じながら「エーデルワイス」を歌う。
- 楽器で主旋律を演奏する。
- 楽器で副次的旋律を演奏する。
- 楽器や歌詞唱で二重奏（二重唱）する。
- 「トルコ行進曲」を聴く。楽曲について知り、身体表現をする。
- 「メリーさんの羊」「ラバースコンチェルト」の範唱を聴き、歌詞唱する。
- 4拍子の指揮を覚える。

↑
内容が厳選され整理されている。

↑
指揮が目的とされ内容が厳選されていない。

※ 題材「ひょうしとせんりつ」には、指導内容という項目がなかったので、主な学習活動という項目を使って考えてみました。本来、「内容」と「活動」は異なるので、今回の内容はあくまで参考と捉えてください。



今回は、「教材のねらいを明確にする。」について考えてみます。

6月28日（金）頃アップする予定です。